

早稲田大学高等研究所〈比較史〉セミナー／中近世キリスト教世界の多元性とグローバル・ヒストリーへの視角 若手研究者セミナー「西洋中世のキリスト教世界と「迫害社会の形成」」（成川報告配布資料）

[Mar. 15, 2014]

「中世北欧における対妖術禁令と「妖術師」イメージの変容
— 「迫害社会」的価値観の受容？」

成川岳大（埼玉大学教育機構・非常勤）

E-mail: narikawagakudai@gmail.com

0：報告の背景：「迫害社会」論と中世北欧へのその適用可能性

[Moore 2007 (1987): esp., 144-71]：12/13c.マイノリティ迫害の共通+体系的類型成立

➤ マイノリティ、キリスト教社会への「脅威」とみなされエリートにより迫害の対象に

➤ 「(中世以降の) 西欧的な迫害社会の」特質、同時期に成立(p. 156.)

① 迫害対象者の周縁化 marginalization、「悪魔化」demonization (<「分類」classification)

② 迫害を体系的かつ循環的に執行するメカニズム＝(異端) 審問

→ラテン＝キリスト教世界周縁部である中世北欧への適用の背景、↑二つの観点から検討

○北欧中近世における「マイノリティ」と「迫害」

背景：地中海沿岸地域から遠く隔たる&非集中／都市型の人口分布。ユダヤ人+いわゆる「異端者」の姿、少なくとも16世紀以前には(ほとんど)見受けられない

→まとまった形での先行研究不在／近年、いくつかの研究が公に

➤ ハンセン氏病患者：隣接諸分野(考古学・解剖学)の貢献 [Baldsen 2001]

➤ 外来イメージ(ユダヤ人)の受容と「転用」 Cf. [Cole 2013]

➤ 異端審問官の活動(正確には任命) [Bandlien & Knutsen 2008]

○多数派？マイノリティについての研究

➤ 妖術／妖術師(中世期)：

✓ [Mitchell 1997]; [Id. 2000]; [Id. 2011]：古北欧語史料(法、叙述)網羅的分析

✓ 文学史料におけるイメージの変遷 [Tulinius (rit.) 2008]

➤ ※ヴァリエーションとしての「魔女狩り」：北欧での研究、多数は宗教改革後 Cf. [Ankaaloo 1992]; [Ankaaloo & Henningsen (ed.) 1993]

➤ 狩猟採集民サーミ(「フィン人」)

✓ 考古学他、隣接諸科学の結果をあわせた総説 [Hansen & Olsen 2004]

※北ノルウェーをはじめとする地方史との文脈での研究 [Urbanczyk 1992] etc.

✓ 文学史料他におけるイメージの変遷に関する研究 [Mundal 1997]

○本報告での視座

➤ 中近世(13-17c.)における法文化、倫理観(→マイノリティ＝「魔女」迫害)の連続性をめぐる議論[Riisøy 2009 (2006)]; [Dørum et al. 2006]：「長い中世(The Long High Middle Ages) 論→13世紀における法文化の変化と「迫害社会」との連関

➤ 13c.法文化の変化の中において、①マイノリティ集団の周縁化、②迫害メカニズムの体系的運用に向けた動きの二点が見られるかに焦点をあわせる。

※主たる検討対象、(西)ノルド語圏(ノルウェー+アイスランド等北大西洋島嶼)に限定

[Mar. 15, 2014]

1: 北欧中世におけるマイノリティ「迫害」—文書、叙述史料からのデータ

年代	地点	被疑者名	性別	罪状	対応
1325	Bergen, Norway	ラグンヒルド・トレガゴース	女	複合（妖術；性的不能；近親相姦）	贖罪巡礼；違反時世俗権力への引き渡し
1343	Kirkjubær, Iceland	修道女某	女	複合（悪魔との契約；教皇の権威否定？；聖体冒瀆？；性の乱れ？）	火刑
1406	Hvalsey, Greenland	コルグリム	男	複合（妖術；強姦）	火刑

1450年以前の北欧（ノルド語圏）における「迫害」事例（[Mitchel 2000: 15]元に加工）

※15c.後半、東ノルド語圏（特にスウェーデン）における裁判記録（未刊行）

記録遺失の可能性 (Mitchell; Nedkvitne) ←→報告者の個人的見解:「氷山の一角」ではない？

1.1. ラグンヒルド・トレガゴース（1325）の事例（史料 1ab）

史料出典：14c.前半（1305-）ベルゲン司教のレターブック：約500件の書簡・文書中取り調べ調書他2通の記録

○取り調べの経過

※おおむねキリスト教関連法部門の規定に沿って行われる？ Cf. [Riisøy 2004: 46-59]

- ① 契機：1325年1月13日ごろからの「公の噂」
- ② 1月25日に本人を召喚→否認
- ③ 2月5日、地方の集会場で彼女が前年11月3日に行った告白の証人を召喚。内容以下。
 - (ア) ボール夫妻の初夜にパンとえんどう豆各5個、そして短剣をベッドに忍ばせる
- ④ その後、拘禁された彼女は長い黙秘後に③での証言を肯定+α（妖術+複数のキリスト教関連法部門の規定違反）
 - イ) 3等親であるボールと4度の関係（→近親相姦、姦通）
 - ロ) 夫婦間に不和をもたらすため、「悪魔に身を捧げる」
 - ハ) 呪文：ガンド？の霊？を放つ ※「ガンドの霊」 [Tolley 1995]; [Ohrt 1934-36]
 - ニ) 夫婦を離婚させ、ボール（元夫）を北ノルウェー、ホーロガランに向かわせる
 - ホ) 不倫相手に対し、関係絶とうとしたら自分の夫に打ち明けると脅す
 - ヘ) 婚姻の2晩目に新郎ボールに性的不能になる呪い
 - ト) 初夜に新郎新婦をストーカーして近くのベッドに潜む
 - チ) 上述の呪文、ソラ・グックなる男から習い覚える
- ⑤ 「判決」：その後、本人反省の弁+↑の時点で狂気に陥っていたと判断
 - A) 断食
 - B) 7年以内に（？）外国に贖罪の巡礼に赴くこと
 - C) ただし、規定を破った場合には世俗権力の法廷に引き渡す

[Mitchell 1997]：ベルゲンの王立礼拝堂と司教の間の権力闘争の余波として解釈

ただし、関係者の社会的立場については研究者の合意× Cf. [Nedkvitne 2009: 299f.]

早稲田大学高等研究所〈比較史〉セミナー／中近世キリスト教世界の多元性とグローバル・ヒストリーへの視角 若手研究者セミナー「西洋中世のキリスト教世界と「迫害社会の形成」」（成川報告配布資料）

[Mar. 15, 2014]

1.2. キルキュベル女子修道院（南アイスランド）の修道女（1343年）（史料2abc）

- ▶ アイスランド：1262/3年にノルウェー王に從属：ノルウェーの立法の影響下のヴァリアントが世俗法（『ヨーンスポーク』&キリスト教関連法部門（『アルニ・ソルラークソンのキリスト教関連法』）の双方で通用
- ▶ ノルウェーの大司教教会法上の権威（形式的には1152/3-）
- ▶ 史料出典：複数のアイスランド編年誌
 - ✓ 『法務官（ラグマン）編年誌』（L）：ほぼ同時代
 - ✓ 『スカウルホルト編年誌』（S）：最大で記録に20年のタイムラグ？
 - ✓ 『フラート島編年誌』（F）：1387-94年に大型写本『フラート島本』付属物として、写生字／司祭マグヌス・ソルハールソンが記す（→最大約50年のタイムラグ）

○編年誌間で錯綜する情報

- ① 修道女の名前：「クリスティン」（F）
- ② 教皇への不敬（L）
- ③ 聖体（ホスチア聖餅）冒瀆（F）
- ④ 悪魔との文面を伴う契約（S; F）
- ⑤ 司教による聖職者の綱紀引き締め（刷新）活動の一環？（L; F）

○両事例での共通点

- ▶ 「悪魔と契約した」存在としての妖術師概念
 - ✓ 当事者本人の意識／最も同時代の記述の直接的な反映かは疑わしい部分も
- ▶ 処分に際し、司教がイニシアチヴ取る
 - ✓ キリスト教関連法部門（後述）の手続きに照らした通常の法手続きの範囲内
 - ✓ 特にノルウェーの場合には、文字記録作られる可能性高い（←→残存数）

2：13-14世紀法史料における対妖術・妖術師禁令他の変容と体系化

○中世ノルウェーの法史料のおおまかな「層位」[Riisøy 2009: 9-12] Cf. [Seip 1937-40]

※1：王国（統一的なもの成立以前？から）、4つの「法域」（法区分）に区分（地図）
ベルゲンは「グラシング」、北ノルウェーは「フロスタシング」法域に属す

※2：教会やキリスト教に関係する「キリスト教関連法部門（kristinréttir; kristinbálkr）」、少なくとも13c.半ばまでは世俗（？）法内部の下位区分として存在

※3：①～④の各「層」内での新旧、個別の法規定の区分けについてはさらに議論有

※4：この他にも、個別事例、法域以下の地方に限定した「法改訂」存在

- ① 各法域の地方法典（古）（c. 1100?）：個々の条文でなく集成として最古のもの、11c.前半にまで遡る可能性（現存の諸条文がそれである保障は存在せず）
- ② 12c.後半の法改訂：2代目トロンハイム大司教エイステイン（r. 1161-88）関与
 - ✓ 「マグヌス」テキスト in 『グラシング法』 Cf. 王マグヌス・エルリングソン
- ③ 13c.半ば：王ホーコン・ホーコンソン治世（r. 1217-63）治世下の法再編纂
- ④ 13c.後半：王マグヌス・ホーコンソン治世（r. 1263-80）&大司教ヨーン・ローデ（r. 1267-82）

[Mar. 15, 2014]

による各地（＋全国）法再編纂

- ✓ 『新グラッシング法／キリスト教関連法部門』（1267）
- ✓ 東ノルウェー2法域の新「キリスト教関連法部門」（1268）
- ✓ 『大司教ヨーンのキリスト教関連法』
→『全国法』（1274）（→アイスランドの『ヨーンスポーク』（1281））

（⑤1280-：大司教による管区教会管区決議文＋α）

※5：「キリスト教関連法部門」としてどれが各法域で通用していたか、一本化されず？

○中世北欧法史料の史料価値評価をめぐる議論

- 19c. ドイツ法史学の伝統（K. Maurer-）：「ゲルマン的」法伝統の根源探し
- 1970s-：スウェーデン発の研究、法史料の評価をめぐり問題提起 [Norseng 1991]
 - ✓ [Sjöholm 1976]：大陸法（ローマ法、カノン法）の影響強く評価
 - ✓ [Brink 2013]：大陸法に還元しきれない在地の法伝統の存続強調
※立法者側のイニシアチヴをどこまで評価するか
- ノルウェー（法制）史における上述議論適用の趨勢
 - ✓ 前者が7:3で優勢：例）ローマ法的所有権概念の受容（Iversen）
 - ✓ 教会史関係中心に、どうしても「はじまり」に関心集中（＝層位①）

→本報告での視座：

イ) ②～⑤において妖術（師）はじめとするマイノリティ集団、どのように定義され、それが変容したか？

ロ) 実際の運用ではなく、あくまでも立法者（王、大司教、司教）側の意識の反映として

2.1. 対妖術・異教的慣行禁令の変遷

大前提：層位①（上述）の段階で王国（法域）共同体＝キリスト教徒（地域）共同体の集合体として認識される（史料3）

←→「（良き）キリスト教徒」＝社会の一員とみなされる前提としての許容範囲に変化

○対妖術慣行禁令（史料4）：『古グラッシング法』（①）と『（偽）スヴェッレ王のキリスト教関連法部門 *Kong Sverres kristenret*¹』（⑤）の比較

- 『古グラッシング法』（4-a）：ケース・バイ・ケースに応じた処罰、より段階的
 - ✓ 予言を信じ、聞きに行った（実践×）：罰金支払いでOK
- 『スヴェッレ王のキリスト教関連法部門』（4-b）：追放刑＋財産没収に一本化する動き
処罰の厳格・一本化／「異教的」崇拝の取り締まり対象拡大 Cf. [Nedkvitne 2009: 285-87]

○何が新たに「異教的」崇拝として取締り対象となったのか（史料5）

- 『古グラッシング法』（5-a=①）：異教の神々と塚、聖域

¹ 王スヴェッレ（1202年没）の名を冠するが、実質的には13世紀後半に王エーリク5世（r. 1280-99）と大司教間の対立を背景に『古グラッシング法』及び『古フロスタシング法』から編纂されたものと推定される [Strauch 2011: 177]。残存写本は14c.前半に年代同定。

早稲田大学高等研究所〈比較史〉セミナー／中近世キリスト教世界の多元性とグローバル・ヒストリーへの視角 若手研究者セミナー「西洋中世のキリスト教世界と「迫害社会の形成」」（成川報告配布資料）

[Mar. 15, 2014]

- 『古グラッシング法／「マグヌス」』(5-b : ante 1184=②) : 人外 (トロール)
 - 『古フロスタシング法』(5-c: c. 1170s=②) ; 『大司教ヨーンのキリスト教関連法』(5-c : 1273=④) : 地霊 Cf. [Ármann Jakobsson 2013]
 - 『スヴェッレ王のキリスト教関連法』(5-d: ⑤) : 女妖術師の別称としての「マン・イーター」 Cf. 13c.前半の『グラッシング法』断片に記載 (5-e) →北欧外部起源？
- 前2者、キリスト教本格受容以前の多神教世界観において近年評価(Sanmark)
ラテン語史料における「悪魔」の出現頻度増加と軌を一にする [Nedkvitne 2009: 277f.]

○妖術＝「悪魔のわざ」という発想 (史料6)

- ①段階の対妖術・「異教的」慣行禁令：供犠の対象 (神々) + 場所に焦点／妖術が何の力によるものかは問われず
 - ②～③以降 (=「悪魔」の出現) :
 - ✓ 教会側史料：妖術はじめとする行為に悪魔が介在するという言説を織り込む (6ab)
 - ✓ 世俗 (王) 制定の法典 (『新グラッシング法 I』3条: ante 1263) にも受容 (6c)
- 逸脱 (異端) 者 vill-menn と妖術師、並置される Cf. ラグンヒルドの取調調書 (1a)

2.2.周縁化されたマイノリティの包括的概念としての「逸脱」／「異端」者 villu-menn

○古ノルド語 vill-menn (一般に「異端者」) の定義をめぐる小論

- ラグンヒルドの取調調書：ラテン語 *heretica* 「異端的」登場←→ラグンヒルド、どのような基準で「異端的」とみなされたのか？
- [Brundage 1987: 473] : 性的逸脱 (特に同性愛行為)、西欧中世一般でしばしば異端と結び付けられる
- [Riisøy 2004: 34f.]; [Riisøy 2009: 50-53] : Brundage の図式を北欧においても確認、第一義的にはカノン法における性関係法規の違反者 (>妖術行使) を villu-menn の前提とみなす Cf. ラグンヒルド
- Cf. 中世北歐人が過去を描く際の *ergi/ argr* : 妖術行使との関係 Cf. オージン
←→既存の *ergi/. argr* と villu(-menn)、どこまで重なる概念なのか？

○「逸脱者」 vill-menn 概念の中世北欧への出現と精緻化 (史料7)

- 12c.半ば以前の用例はほぼ皆無 Cf. [Bandlien & Knutsen 2008: 441]
 - ✓ 13世紀の「サガ」(12c.の十字軍遠征描写) 中でサラセン人への形容に→ラテン語「不信心者」(→「異教徒」→「非キリスト教徒」) *infidelis* 的に使われる？
- 『スヴェッレのサガ』(c. 1210?) (7-a) : 王と敵対し、破門された(「サガ」作者いわく) 党派の指導者の司教の形容
- 『大司教ヨーンの教会管区決議文』(1280=⑤) (7-b)
 - ✓ ローマ教会と袂分ち、その權威を認めない存在としての villu-menn
 - ✓ 司教に、司教区内 villumenn 取締りの指示が出される
↑南方、ヨーロッパ大陸におけるカノン法の定義、villu-menn に
- 『大司教アーネの教会管区決議文』(1346=⑤) (7-c) : 教会の脅威の包括概念的な形

[Mar. 15, 2014]

容として villmenn 転用される（ルーン、妖術、非正統の教説）

○情報（概念）伝達のメカニズムとしての「ノルウェー王支配圏」法文化

- 教会管区決議文（6b, 7bc）：当初ラテン語で会議決議を記録（？）→残存するのはほぼすべて 14/15c. アイスランド写本中の俗語訳形態
- アイスランド司教座の司教：少なくとも 1330 年代まではニダロス大司教座（ノルウェー）の管区会議にまじりに出席
- 南方、ヨーロッパ本土からノルウェーまでの情報媒介者としてのトロンハイム（ニダロス）大司教
 - ✓ 大司教アウドフィン、ポール：いずれも南仏オルレアンに学ぶ
 - ✓ ポール：doctor utrius juris
- ノルウェー経由でヨーロッパの規範を受容し、在地社会、教会に持ち帰る司教
 - ✓ スカウルホルト司教ヨーン・シグルザルソン（史料 2）：アイスランド人修道士
 - ✓ ↑の前任者、司教ヨーン・ハルドールソン：ベルゲンのドミニコ会修道院出身：大司教による管区会議編纂に積極的協力

3：まとめにかえて

13c./14c.前半中世北欧ノルド語圏（ノルウェー、アイスランド）における法文化の展開

：南方、大陸ヨーロッパの諸概念の北方への移入 with 「迫害社会」的価値観

立法者の語彙のレベルに留まらず、法、教会行政上のネットワーク（管区会議）介して北大西洋をわたり現地社会にまで到達。

課題①：南方、大陸ヨーロッパ発以外の形で中世北欧人の「妖術師／魔術的」世界観を刺激する文化接触先が存在：極北の狩猟採集民サーミ（フィン人）

※中世中後期、北ノルウェーの商業漁業活発化に伴い北欧人北方に進出 Cf.ラグンヒルド

課題②：より社会の下層における「妖術師」観（特にノルウェー人の！）、宗教改革以前探ること極めて難しい：ルーン木簡等の利用可能性 [Segev 2001]

※スウェーデン、15c.説教文学他の活用

課題③：14c./15c.ノルド語圏における文化の担い手の交代（黒死病、カルマル同盟）、「迫害社会」的価値観の受容にどのように貢献したのか

早稲田大学高等研究所〈比較史〉セミナー／中近世キリスト教世界の多元性とグローバル・ヒストリーへの視角 若手研究者セミナー「西洋中世のキリスト教世界と「迫害社会の形成」」（成川報告配布資料）

[Mar. 15, 2014]

主要参考文献

一次史料

（法・文書史料）

DN: *Diplomatarium Norvegicum*, 22 bd. Christiania, 1847-1976; 03 Apr. 2004, Dokumantasjonsprosjektet, 13 Mar. 2014. <http://www.dokpro.uio.no/dipl_norv/diplom_field_eng.html>.

Den eldre Gulatingslova, utg. Bjørn Eihun, Magnus Rindal & Tor Ulset. Oslo, 1994.

Norges Gamle Love indtil 1387, 5 bd., utg. Rudolf Keyser & Peter A. Munch. Christiania, 1849.

[*Frostatingslova*, oms. Jan R. Hagland & Jørg Sandnes. Oslo, 1994.]

[*Nyere norske kristenretter*, oms. Bjørg D. Spørck. Oslo, 2009.]

[*The Earliest Norwegian Laws: Being the Gulathing Law and the Frosatathing Law*, trans. Laurence M. Larson. New York, 1935.]

（叙述史料）

Gamal norsk homiliebok AM 619 4to., utg. Gustav Indrebø. Oslo, 1931.

IA: Storm, Gustav (udg.). *Islandske Annaler indtil 1578*. Christiania, 1888.

Karl Jónsson et al., *Sverris saga*, útg. Þorleifur Hauksson. Reykjavík, 2007.

Passio et miracula beati Olavi, edited from a Twelfth-Century Manuscript in the Library of Corpus Christi College, Oxford, with an Introduction and Notes, ed. F. Metcalfe. Oxford, 1981.

[*A History of Norway and the Passion and Miracles of the Blessed Óláfr*, trans. Devra Kunin. London, 2001]

（史料翻訳・邦語）

谷口幸男訳『アイスランド・サガ』（新潮社，1979年）。

拙訳『ヒストリア・ノルベジエ（ノルウェー史）*Historia Norwegie*』（『北欧史研究』26（2009年）68-100頁）。

二次文献

Ankarloo, Bengt. *Trolldoms processerna i Sverige*. Stockholm, 1996.

Ankarloo, Bengt, & Gustav Henningsen (eds.). *Early Modern European Witchcraft: Centres and Peripheries*. Oxford, 1993.

Ármann Jakobsson. “The Trollish Acts of Þorgrímr the Witch: The Meaning of Troll and Ergi in Medieval Iceland.” In: Id., *Nine Saga Studies: The Critical Interpretation of the Icelandic Sagas*, pp. 93-124. Reykjavík, 2013.

Bandlien, Bjørn & Gunnar W. Knutsen. “Kjetterinkvisitorer i Norge.” *Historisk tidsskrift* 2008-3 (2008): 433-50.

Berufsen, Bjarne. *Kulturtradisjon fra en storhetstid: En kulturhistorisk studie på grunnlag av den pritave brevlitteratur i første halvdel av det 14. hundreår*. Oslo, 1948.

Boldsen, Jesper. “Epidemiological Approach to the Paleopathological Diagnosis of Leprosy.” *American Journal of Physical Anthropology* 115 (2001): 380-87.

Brenner, Elma. “Recent Perspectives on Leprosy in Medieval Western Europe.” *History Compass* 8-5 (2010): 388-406.

Brink, Stefan. “The Creation of a Scandinavian Provincial Law: How was it done?” *Historical Research* 86 (2013): 432-42.

Brundage, James. *Law, Sex, and Christian Society in Medieval Europe*. Chicago, 1987.

Cole, Richard. “Snorri and the Jews.” *Paper given at The Aarhus Old Norse Mythology Conference at Harvard. Old Norse Mythology in its Comparative Contexts*. 31st October, 2013.

早稲田大学高等研究所〈比較史〉セミナー／中近世キリスト教世界の多元性とグローバル・ヒストリーへの視角 若手研究者セミナー「西洋中世のキリスト教世界と「迫害社会の形成」」（成川報告配布資料）

[Mar. 15, 2014]

- Collins, David J. "Magic in the Middle Ages: History and Historiography." *History Compass* 9-5 (2011): 410-22.
- Dørum, Knut et al. "Debatt: Et nybrottarbeid om sexkriminalisering i eldre tid." *Heimen* 43 (2006): 53-62.
- Ersland, Geir A. & Hilde Sandvik. *Norsk historie 1300-1625*. Oslo, 1999.
- Flint, Varelle I. J. *The Rise of Magic in Early Medieval Europe*. Princeton, NJ, 1991.
- Gilje, Nils. *Heksen og humanisten: anne Pedersdatter og Absalon Pederssøn Beyer- En historie om magi og trolldom i Bergen på 1500-tallet*. Bergen, 2003.
- Hamre, Lars. "To bergenske kyrkjehovdingar, bispedrørne Arne og Audfinn." I: Steinar Supphellen (red.), *Kongsmenn og krossmenn: festskrift til Grethe Authén Blom*, ss. 139-65. Trondheim, 1992.
- Hansen, Lars I. & Bjørnar Olsen. *Samenes historie fram til 1750*. Oslo, 2004.
- Helle, Knut. *Norge blir en stat 1130-1319*. Oslo, 1974.
- _____. *Gulatinget og gulatinglova*. Leikanger, 2001.
- Hodne, Ørnulf. *Trolldom i Norge: Hekser og trollmenn i fokletro og lokaltradisjon*. Oslo, 2008.
- Imsen, Steinar (ed.). *'Ecclesia Nidrosiensis' and 'Noregs veldi': The Role of the Church in the Making of Norwegian Domination in the Norse World*. Trondheim, 2012.
- Jochens, Jenny. "The Church and Sexuality in Medieval Iceland." *Journal of Medieval History* 6 (1980): 377-92.
- _____. *Women in Old Norse Society*. Princeton, NJ, 1995.
- Jón Viðar Sigurðsson & Anne I. Riisøy. *Norsk historie 800-1536*. Oslo, 2011.
- Karlsón, Gunnar. *The History of Iceland*. Minneapolis, 2000.
- Kieckheffer, Richard. *Magic in the Middle Ages*. Cambridge, 2000 (1st ed. 1989).
- Krag, Claus. *Norges historie fram til 1319*. Oslo, 2000.
- Lassen, Annette. *Odin på kristent pergament: En teksthistorisk studie*. København, 2011.
- Mitchell, Stephen A. "Nordic Witchcraft in Transition: Impotence, Heresy, and Diabolism in 14th Century Bergen." *Scandia* 63-1 (1997): 17-32.
- _____. "Gender and Nordic Witchcraft in Later Middle Ages." *ARV* 56 (2000): 7-24.
- _____. *Witchcraft and Magic in the Nordic Middle Ages*. Philadelphia, 2011.
- Moore, Robert I. *The Formation of a Persecuting Society*. 2nd ed. Malden, MA, 2007 (1987).
- Mundal, Else. "The Perception of the Saamis and their Religion in Old Norse Sources." In: Juna Pentikäinen (ed.), *Shamanism and Northern Ecology*, pp. 97-116. Berlin, 1996.
- Murray, Alexander M. "Missionaries and Magic in Dark-Age Europe." *Past & Present* 136 (1992): 186-205.
- Nedkvitne, Arnved. *Lay Belief in Norse Society 1000-1350*. Copenhagen, 2009.
- Norseng, Per. "Law Codes as a Source for Nordic History in the Early Middle Ages." *Scandinavian Journal of History* 16-3 (1991): 137-66.
- Ohrt, F. "Gondols ondu." *Acta Philologica Scandinavica* 10 (1933-34): 199-207.
- Perron, Anthony. "The Face of the 'Pagan': Portraits of Religious Deviance on the Medieval Periphery." *Journal of the Historical Society* 9-4 (2009): 467-92.
- Riisøy, Anne I. *Stat og kirke: Rettsutøvelse i kristensrettstaker mellom Slttargjerd og reformasjonen*. Oslo, 2004.
- _____. *Sexuality, Law and Legal Practice and the Reformation in Norway*. Leiden-London, 2009. [Norwegian Original: *Ead., Sex, rett og reformasjon*. Ph. d. avhandling, UiO, 2006]
- Riisøy, Anne I. & Bjørg D. Spørck. "Dateringen av nyere Borgartings kristenretter." *Collegium medievale* 12 (1999): 57-74.
- Rydving, Håkan. *The End of Drum-Time: Religious Change among the Lule Saami, 1670s-1740s*. 3rd

早稲田大学高等研究所〈比較史〉セミナー／中近世キリスト教世界の多元性とグローバル・ヒストリーへの視角 若手研究者セミナー「西洋中世のキリスト教世界と「迫害社会の形成」」（成川報告配布資料）

[Mar. 15, 2014]

ed. Uppsala, 2004 (1993).

Sanmark, Alexandra. *Power and Conversion: A Comparative Study of Christianization in Scandinavia*. Uppsala, 2004. OPIA 34.

Segev, Dror. *Medieval Magic and Magicians – in Norway and Elsewhere: Based upon 12th- 15th centuries Manuscript and Runic Evidence*. Oslo, 2001.

Seip, Jens A. “Ennu en kristenrett fra gammel-norsk tid.” *historisk tidsskrift* (norsk) 31 (1937-40): 573-627.

Sjöholm, Elsa. *Gesetze als Quellen: Mittelalter Geschichte als Nordens*. Stockholm, 1976.

Strauch, Dieter. *Mittelalterliches Nordisches Recht bis 1500*. Berlin- New York, 2011.

Tolley, Clive. “Vörðr and Gandr: Helping Spirits in Norse Magic.” *Arkiv för nordisk filologi* 110 (1995), 57-75.

_____. “Sources for Snorri's Depiction of Óðinn in Ynglinga Saga: Lappish Shamanism and the Historia Norvegiae.” *Maal og Minne* 1996 (1979): 57-79.

Tulinius, Torfi H. (rit.) *Galdramenn: Galdrar og samfélag á miðöldum*. Reykjavík, 2008.

熊野聡『北欧初期社会の研究』（未来社，1986年）。

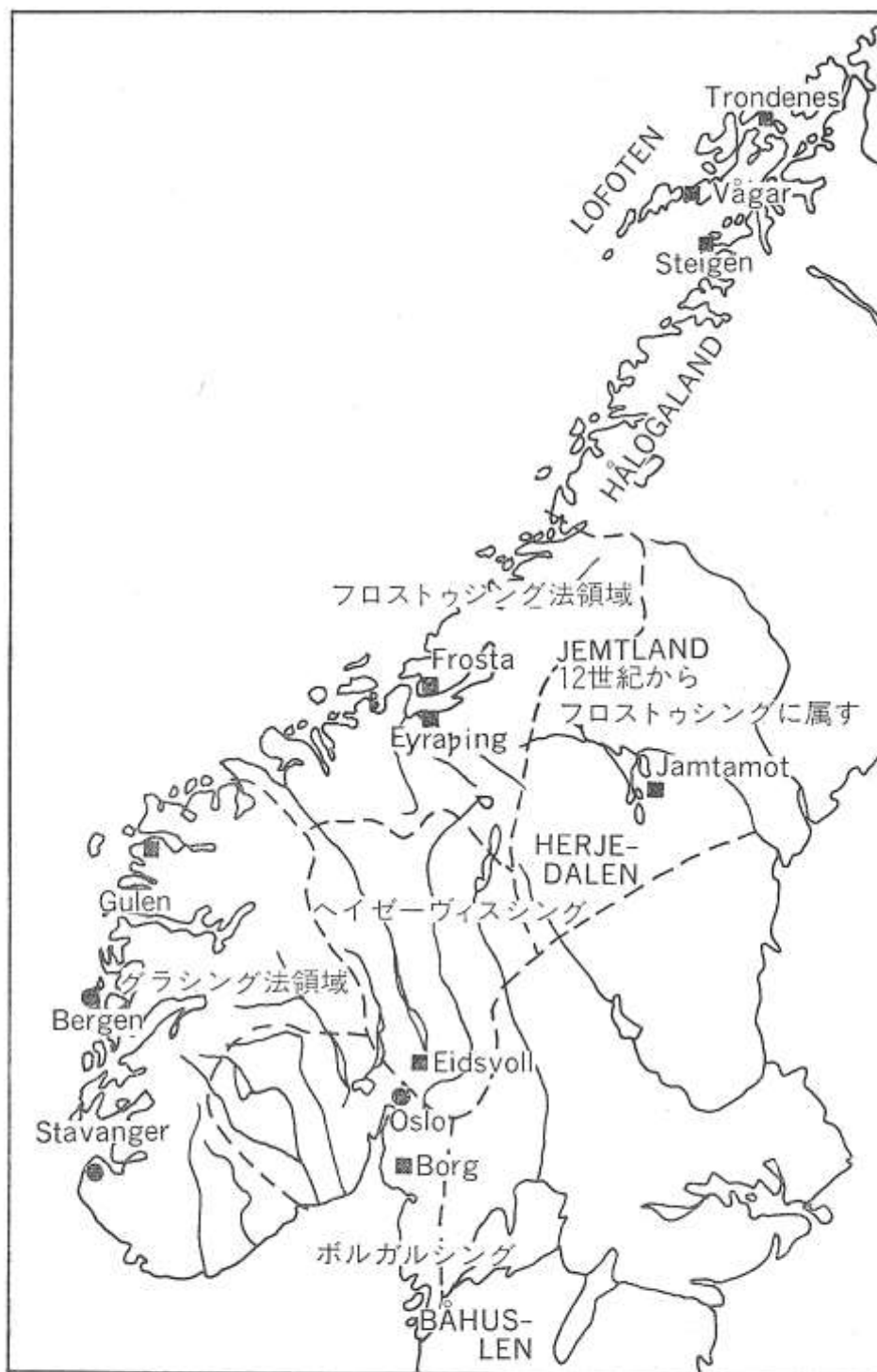
甚野尚志・踊共二編『中近世ヨーロッパの宗教と政治』（ミネルヴァ書房，2014年）。

野口洋二『中世ヨーロッパの教会と民衆の世界—ブルカルドゥスの贖罪規定をつうじて』（早稲田大学出版局，2009年）。

ストレム，F.／菅原邦城訳『古代北欧の宗教と神話』（人文書院，1982年）。

[Mar. 15, 2014]

<関連地図>ノルウェー各地の「法域」[熊野 1986: 288]



... ログシング領域境界

■ ログシング集会地

(*Norges historie*, bd. 2, Oslo, 1976, s. 290 より)

図2 1200年ころのノルウェーのログシング